



人間の行動原理と原則にもとづいた

smart creative management

【世界初】需要創造の芸術と科学

NEWS RELEASE

2021年7月2日

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所

ABA オペレーションズ研究センター

リクエスト株式会社

# 自律へ導く『報酬の開発』 発売™

## ～外発から内発的動機で仕事をするステップ～

部下に良かれと思って仕事を任せる。部下はそれを求めている。それよりも「プライベートを重視したい」「ストレスなく仕事がしたい」「(ストレスなく)人の役に立ちたい」「できることを増やしてほしい」「らくにやりたい(目先の効率)」などの動機を持っている。これらを制約条件ととらえて、自律的に創造的にしていくやり方を身に付ける企業が増えてきている。以前に比べ、上司と部下が関わる時間が減っている。このような環境の中で、どうすれば、消極的な部下が「仕事を任される」ことでやる気になるようになるのか？そして、その先の成長をどうしていけばよいのか？そのやり方を弊社クライアントとABA(応用行動分析学)オペレーションズ研究センター、スマートクリエイティブマネジメント総合研究所が共働で開発してきました。

# 自律へ導く『報酬の開発』

## ～外発から内発的動機で仕事をするステップ～

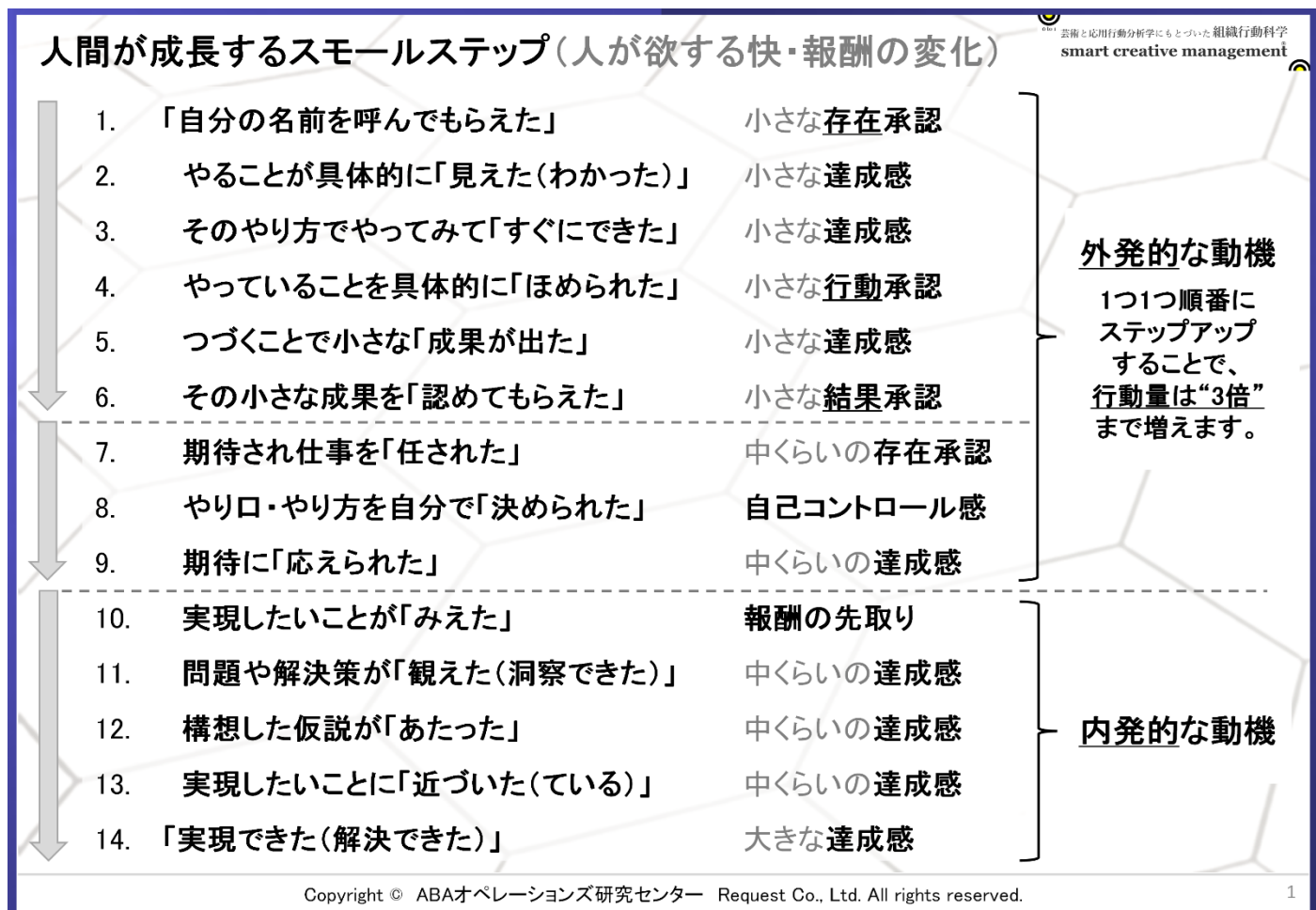


芸術と応用行動分析学にもとづいた

smart creative management®

クリエイティビティの再現

外発的動機付けから内発的動機付けに変わっていくステップ：



今、自分と仕事をしてきている部下は、どのステップにあるのか？それを踏まえて、徐々にステップアップをしていくことで、自発性の無い部下であっても、自発的になっていきます。一見、手間がかかるようにみえるかと思いますが、想像するよりも速く、部下は自発的になっていきます。

「叱った方が良い」「ほめた方が良い」「教えない方が良い」など、その場を効率的に対処する、目先の効率を追求すること続けていても、人は育たない。何が人を成長させていくのかをマネージャーやリーダーが体系的に身に付けることは、目先では非効率ですが、先々をみずえると効率的です。

リーダーや上司の方々に抑えておいていただきたいポイント：

- ・ はじめは「すぐに正解（ハウツー・対処方法）を欲しがる」のはふつうのことだととらえる。
- ・ 新人や若手に“仕事を任せて”も喜ぶとは限らないとする。
- ・ 徐々に自発的になっていく。自発度合が高くなることで、耐えられる負担も多くなる。
- ・ 承認と達成感は“快”（報酬）。負担感は“不快”。快が不快より少しでも多ければ継続する。
- ・ がんばることが楽しくなるのはステップ6以降。

リーダーや上司になる人は、仕事を任されて嬉しかった経験があると思います。その成功体験は一部の部下にし  
か使うことができません。10人中1人程度と考えておいた方が良いです。ご自身が新人、若手のころの同期を想  
い出してください。全員が全員、自発的に負荷に耐え、成長し、仕事ができるようにはなっていない。脱落して  
いる人もいた。若手や新人が変わったこともあります。人間、そこまで多く変わってはいないです。昔は脱落  
しても代わりになる頭数がいた。しかし、今は頭数が不足している。それだけです。自分と同じような部下“以外”  
の自律性や創造性を高めていくことはできます。そのやり方を身に付け頂きたいと考えています。



0 to 1

# 芸術と応用行動分析学にもとづいた組織行動科学 smart creative management®



【会社概要】 社名： リクエスト株式会社 URL：<https://requestgroup.jp>

代表者：代表取締役 甲畑智康

組織の行動変容のやり方を研究開発する ABA オペレーションズ研究センターを構え、  
応用行動分析学と芸術にもとづいた“組織行動科学 smart creative management®”を開発。  
日本行動分析学会会員。著書「教える技術 外国人と働く編（かんき出版）」

URL：<https://requestgroup.jp/profile>

【事業内容】：需要創造型リーダーの開発®、ロボットのマネジメント、習慣化プログラム開発：  
芸術と応用行動分析学にもとづいた“組織行動科学 smart creative management®”を  
840 社以上、社員 30,000 人の組織から年商 5 億円の企業へ開発提供の実績を有しています。

【研究機関】：ABA（応用行動分析学）オペレーションズ研究センター（ABA Operations Research®）  
スマートクリエイティブマネジメント総合研究所（smart creative management®）  
公共行動研究室（Behavior Based Public Policy）

【過去の商品リリース】 [https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/68315](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/68315)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

担当：末光

e-mail：[request@requestgroup.jp](mailto:request@requestgroup.jp)

問合せフォーム：<https://requestgroup.jp/request>

